

飛鳥 高等学校 令和5年度（1年次用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科：地理歴史科 科目：地理総合 単位数：2 単位
 対象学年組：第1年次 1組～6組
 教科担当者：（1組：瀬原）（2組：瀬原）（3組：瀬原）（4組：瀬原）（5組：瀬原）（6組：瀬原）
 使用教科書：（帝国書院：新地理総合、帝国書院：新詳高等地図）

教科 地理歴史科 の目標：
【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切にかつ効率的にまとめる技能、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決によりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察の目標：
【学びに向かう力、人間性等】度

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の諸地域の生活文化の特色や多様性、身近な地域や地球規模でみられる課題の現状や要因、解決の方向性などを理解しているとともに、地図や地理情報システム（GIS）などを活用して地理に関する様々な情報を適切に調べ、まとめる技能を身に付けることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを効果的に説明することができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度とともに、多面的・多角的な考察や理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情や世界の諸地域の生活文化の多様性を尊重しようとする態度を身に付けることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解させる。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図やGISなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	1. 地球上の位置と時差 2. 地図の役割と種類 3. 地理院地図やGoogle Earthの利用 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地形図や地理院地図、Google Earthなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	6
B 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野からみた日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	1. 現代世界の国家 2. 日本の位置や領域 3. グローバル化する世界 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領土や領海、排他的経済水域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野からみた日本の位置や沖ノ鳥島の存在意義、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
C 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の地形や気候の特色との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解につ	1. 世界の地形と人々の生活 2. 世界の気候と人々の生活 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の地形や気候の特色との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	14

	<p>いて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>										
	定期考査					○	○	1			
	<p>C 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の自然及び社会条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>1. 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>2. 歴史的背景と人々の生活</p> <p>3. 世界の産業と人々の生活</p> <p>1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の自然及び社会条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。</p>					○	○	○	10
	定期考査					○	○	1			
2学期	<p>D 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解させる。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>1. 人口問題</p> <p>2. 食料問題</p> <p>3. 都市・居住問題</p> <p>4. 資源・エネルギー問題</p> <p>5. 地球環境問題</p> <p>1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。</p>	<p>【知識及び技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の主体的取り組みや先進国・発展途上国間の協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を「自分ごと」として追究、解決しようとする態度を身に付けている。</p>					○	○	○	14
	定期考査					○	○	1			
	<p>E 自然災害と防災</p> <p>【知識及び技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や身近な地域でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する理解させる。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定</p>	<p>1. 日本の自然環境</p> <p>2. 地震・津波と防災</p> <p>3. 火山災害と防災</p> <p>4. 気象災害と防災</p> <p>5. 自然災害への備え</p> <p>1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。</p>	<p>【知識及び技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や身近な地域でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 台風災害や火山災害などの自然災害に対応したハザードマップや地理院地図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>					○	○	○	10

3 学 期	し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。		・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。					
	F 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解させる。 生活圏の成り立ちや変容がみられる各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	1. 生活圏の調査と地域の展望 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 今昔マップや迅速図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	7	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

飛鳥 高等学校 令和5年度（1年次用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 年次 1 組～ 6 組
 教科担当者： （1組：佐藤義弘） （2組：西田） （3組：西田） （4組：佐藤義弘） （5組：西田） （6組：佐藤義弘）
 使用教科書： （「新歴史総合」（第一学習社））
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につける
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
18世紀のアジアの繁栄 【知識及び技能】 18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究する。	○18世紀の東アジアの政治と国際秩序 ○朝鮮・琉球・アイヌと江戸幕府 ○日本の外国船対策 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分のことばで表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	5
工業化の進展と国民国家の建設 【知識及び技能】 19世紀後半以降の欧米の国民国家形成の動向および工業化の進展が帝国主義につながることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究する。	○産業革命とイギリス革命、米独立戦争 ○フランス革命とナポレオン戦争 ○ウィーン体制の成立と崩壊 ○「ボックス＝ブリタニカ（イギリスの平和）」 ○後発国による「上からの近代化」 ○アメリカ合衆国の膨張とアジア・太平洋政策 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、自分のことばで表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
結びつく世界と日本の課題 【知識及び技能】 中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究する。	○オスマン帝国の衰退と西アジア ○ヨーロッパのアジア進出 ○東アジアの動揺 ○東アジアの情勢と改革 ○明治初期の日本の外交 ○大日本帝国憲法の制定 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連づけたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分のことばで表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5
帝国主義とアジア諸国の変容 【知識及び技能】 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新後の日本やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在につながる植民地化の問題を、世界的な視野から考える力を養う。	○帝国主義諸国の世界分割 ○日清戦争と中国分割 ○日露戦争とアジアの変化 ○日本の帝国主義と東アジア ○産業の発達と社会・労働運動の高まり ○国民統合と教育 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分のことばで表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6

飛鳥 高等学校 令和5年度（1年次用）教科 地理歴史科 科目 地理探究 I

教科：地理歴史科 科目：地理探究 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 年次 1 組～ 6 組

教科担当者：（講座S：瀬原）

使用教科書：（帝国書院：新詳地理探究 帝国書院：新詳高等地図）

教科 地理歴史科

の目標：

- 【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめ、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 地理探究 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システム（GIS）などを用いて、調査や資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりすることができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度とともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情や世界の諸地域の生活文化の多様性を尊重しようとする態度を身に付けることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 自然環境 【知識及び技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	1. 地形 2. 気候 3. 日本の自然環境 4. 地球環境問題 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション、ディベート等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
B 資源と産業 【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	1. 農林水産業 2. 食料問題 3. エネルギー・鉱産資源 4. 資源・エネルギー問題 5. 工業 6. 第3次産業 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション、ディベート等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識・技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	13	
定期考査			○	○		1	
C 交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に	1. 交通・通信 2. 観光 3. 貿易と経済圏 1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション、ディベート等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。	【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所					

2 学 期	<p>入居、退居などの物価・ハンパ物に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>物、概ねはそこに因る諸事象にシフト、物価の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	9	
	定期考査		○	○		1	
	<p>D 人口、村落・都市</p> <p>【知識及び技能】 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>1. 人口 2. 人口問題 3. 村落と都市 4. 都市・居住問題</p> <p>1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション、ディベート等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。</p>	<p>【知識及び技能】 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	15
定期考査		○	○		1		
3 学 期	<p>E 生活文化、民族・宗教</p> <p>【知識及び技能】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>1. 衣食住 2. 民族・宗教と民族問題 3. 国家の領域と領土問題</p> <p>1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用、ペア・グループワーク、プレゼンテーション、ディベート等を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を効果的に図る。</p>	<p>【知識及び技能】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	15
	定期考査		○	○		1	
						合計	
						70	

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次用）教科 地理歴史科 科目 世界史探究 I

教科：地理歴史科 科目：世界史探究 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 2 年次 1 組～ 6 組
 教科担当者：（ 1 組：西田 ）（ 2 組：西田 ）（ 3 組：西田 ）（ 4 組：西田 ）（ 5 組：西田 ）（ 6 組：西田 ）
 使用教科書：（ 実教 世界史探究 ）

教科 地理歴史科 の目標：
【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切にかつ効果的にまとめる技能を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決によりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察
【思考力、判断力、表現力等】察したり、歴史に見られる課題の解決によりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察
【学びに向かう力、人間性等】度を養うとともに、多面的・多角的な考察
 科目 世界史探究 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切にかつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】 産業革命と南北アメリカの革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や南北アメリカの革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と南北アメリカの革命について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・産業革命 ・南北アメリカの革命	【知識・技能】 産業革命と南北アメリカの革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解できている。 【思考・判断・表現】 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や南北アメリカの革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と南北アメリカの革命について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。	○	○	○	6
【知識及び技能】 ・革命の背景や市民の諸権利、新体制にふさわしい国民の創造をめざして実施された政策について諸資料から読み解き理解させる。地図活用し、ナポレオンが築いたヨーロッパの国際秩序とそれに対する抵抗について理解させる。 ・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・旧体制下のフランス社会と革命の背景や人権宣言とアメリカ独立宣言の意義、革命期の政体の変遷について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「国民国家」「ナショナリズム」を語句を活用し、旧体制が打破され、国民国家の創出がめざされたことをふまえながら、フランス革命が恐怖政治やナポレオンの登場につな	・フランス革命とナポレオン帝政 ・ウィーン体制と1848年の革命 ・19世紀後半のヨーロッパとアメリカ	【知識・技能】 ・革命の背景や市民の諸権利、新体制にふさわしい国民の創造をめざして実施された政策について諸資料から読み解き理解している。地図活用し、ナポレオンが築いたヨーロッパの国際秩序とそれに対する抵抗について理解している。 ・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 ・旧体制下のフランス社会と革命の背景や人権宣言とアメリカ独立宣言の意義、革命期の政体の変遷について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「国民国家」「ナショナリズム」を語句を活用し、旧体制が打破され、国民国家の創出がめざされたことをふまえながら、フランス革命が恐怖政治やナポレオンの登場につながった要因について、主体的に追究しようとしている。 ・国民国家と近代民主主義社会の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を	○	○	○	7

<p>がった要因について、主体的に追究する。</p> <p>・国民国家と近代民主主義社会の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民意識や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		<p>通して涵養される国民意識や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>				
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <p>国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の抗争などを基に、世界市場の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界市場の進展とナショナリズムの高まりについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や</p>	<p>・ヨーロッパの帝国主義</p> <p>・アメリカの帝国主義</p> <p>・西アジアの改革運動</p> <p>・アフリカの分割と抵抗</p> <p>・インド・東南アジアの植民地化と民族運動</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解させる。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の抗争などを基に、世界市場の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界市場の進展とナショナリズムの高まりについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		1

	<p>【知識及び技能】 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアの国際関係の再編 第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制と国際協調 アジアのナショナリズムの台頭 	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
2学期	<p>【知識及び技能】 世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解させる。</p> <p>第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌とファシズム 満州事変と日中戦争 第二次世界大戦 	<p>【知識・技能】 世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。</p> <p>第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>	○	○	○	7
	<p>【知識及び技能】 国際連盟と国際連合の違いや冷戦の定義と両陣営の展開、第二次世界大戦直後のアジアにおける戦争・紛争について、写真や地図資料を活用して、意志決定機関や武力制裁の有無</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の変革と冷戦のはじまり 冷戦下の安全保障体制 	<p>【知識・技能】 国際連盟と国際連合の違いや冷戦の定義と両陣営の展開、第二次世界大戦直後のアジアにおける戦争・紛争について、写真や地図資料を活用して、意志決定機関や武力制裁の有無などの観点と経緯を理解している。</p>				

<p>などの観点と経緯を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 史料の「人権宣言」と「世界人権宣言」とを比較し、その異同にみられる歴史的意義について多面的・多角的に考察し、表現している。また、資料を活用して中国共産党が国民党との内戦に勝利できた理由について、多面的・多角的に考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 朝鮮戦争がその後の世界史にどのような意義をもったか、冷戦構造の変化や朝鮮半島情勢の経過をふまえて主体的に追究する。</p>		<p>【思考・判断・表現】 史料の「人権宣言」と「世界人権宣言」とを比較し、その異同にみられる歴史的意義について多面的・多角的に考察し、表現している。また、資料を活用して中国共産党が国民党との内戦に勝利できた理由について、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 朝鮮戦争がその後の世界史にどのような意義をもったか、冷戦構造の変化や朝鮮半島情勢の経過をふまえて主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>3 学 期</p> <p>【知識及び技能】 先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差は正の取組と課題を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 格差は正の課題と取組について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脱植民地化と非同盟 ・冷戦の終結と現代世界 ・冷戦と経済統合 ・第三世界の経済 ・グローバル化と新自由主義の時代 	<p>【知識・技能】 先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差は正の取組と課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 格差は正の課題と取組について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計 70

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次用） 教科 地理歴史科 科目 日本史探究 I

教科：地理歴史科 科目：日本史探究 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 年次 1 組～ 6 組

教科担当者：（講座A：白土）（講座B：白土）

使用教科書：（実教 日本史探究）

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切にかつ効果的にまとめる技能を身に付け、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 日本史探究 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切にかつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
A 単元 原始・古代の日本と東アジア 【知識及び技能】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】狩猟社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】旧石器時代・縄文時代・弥生時代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1. 日本列島最古の文化（旧石器文化） 2. 縄文時代の社会と文化 3. 弥生時代の社会と文化 4. ヤマト政権の成立と古墳文化 ・ペア学習 ・グループ学習 ・1人1台端末の活用 等	【知識・技能】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、また黎明期の日本列島における自然環境と人間の生活に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、また黎明期の日本列島における自然環境と人間の生活に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、また黎明期の日本列島における自然環境と人間の生活に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
B 単元 ヤマト政権の成立と古墳文化 【知識及び技能】国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治や社会の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】東アジア諸国との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を東アジア諸国との関係に着目して自主的に追及している。	1. 小国の分立と邪馬台国 2. 古墳の出現とヤマト政権の成立 3. ヤマト政権の展開と統治の進展 4. 古墳時代の生活と文化 ・ペア学習 ・グループ学習 ・1人1台端末の活用 等	【知識・技能】国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
C 単元 律令国家の形成 【知識及び技能】律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】古代の国家の形成過程について、事象の意味や意義、関係性などに着目して自主的に追及している。	1. 古代国家の形成 2. 飛鳥文化・白鳳文化 3. 律令制度 4. 奈良時代の政治 5. 天平文化 ・ペア学習 ・グループ学習 ・1人1台端末の活用 等	【知識・技能】律令体制の成立過程と諸文化の形成、中国王朝の関係と政治や文化への影響に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】律令体制の成立過程と諸文化の形成、中国王朝の関係と政治や文化への影響に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】律令体制の成立過程と諸文化の形成、中国王朝の関係と政治や文化への影響に関する問いに対して、自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	6
D 単元 古代の国家・社会の変容 【知識及び技能】貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解させる。	1. 律令体制再編期の政治と社会 2. 摂関政治の成立と支配体制の転換 3. 国風文化 ・ペア学習 ・グループ学習	【知識・技能】貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現、東アジアとの関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】貴族政治の展開、平安				

	<p>【思考力、判断力、表現力等】地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】平安時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・1人1台端末の活用 等</p>	<p>期の文化、地方支配の変化や武士の出現、東アジアとの関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現、東アジアとの関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>E 単元 荘園公領制の成立と院政</p> <p>【知識及び技能】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】貴族政治の変容や武家政権の成立、当該期の世界との関わりについて、課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>1. 中世とはどのような時代なのか 2. 院政の開始 3. 二大棟梁 4. 平治政権 5. 院政期の文化 6. ペア学習 7. グループ学習 ・1人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容、東アジアとの関わりの変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>F 単元 中世の国家・社会の展開</p> <p>【知識及び技能】武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武家政権の成立と展開、鎌倉時代の産業・文化の発展、公武関係の変化などについて、課題を主体的に探究させる。</p>	<p>1. 鎌倉幕府の成立と朝廷 2. 中世に生きる人々 3. 蒙古襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化 1人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】武家政権の成立や展開、産業の発達、宗教や文化の展開、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	8
2 学 期	<p>G 単元 中世の国家・社会の変容</p> <p>【知識及び技能】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、歴史的な事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>1. 南北朝の動乱 2. 室町幕府の政治と外交 3. 室町社会の展開と応仁の乱 4. 室町文化 5. 戦国大名の分国経営 6. ペア学習 7. グループ学習 ・1人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の成立、多様な文化の形成や融合に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>H 単元 東アジアの世界の変容と天下統一</p> <p>【知識及び技能】織豊政権の政治、</p>	<p>1. 織豊政権 2. 天下統一の完成 3. 近世成り立ちの文化</p>	<p>【知識・技能】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する基</p>				

飛鳥 高等学校 令和5年度（2年次用） 教科 地理歴史科 科目 地域史

教科：地理歴史科 科目：地域史 単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 1組～6組

教科担当者：（1講座：佐藤義弘）

使用教科書：（「江戸から東京へ」、各自で準備した文献や資料 博物館や資料館のパンフレット など）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したこと効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 地域史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地域の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地域の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、郷土文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
地域史を学ぶ意義を考えよう 【知識及び技能】北区の郷土史や地域史にふれさせる。高齢化や歴史継承者の減少で郷土の習慣や風習など伝統の継承が困難になっていることを理解させたりする。 【思考力、判断力、表現力等】地域史を学習するにあたり、北区の歴史的分野について他者の理解が得られるように調べたり表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】地域史を学習する意義や考え方を積極的にとらえ、自身の興味について表現を工夫する。	・地域史を学習する意義について理解する。 教材： ・「江戸から東京へ」、オリエンテーション資料（独自） ・一人1台端末の活用 ・振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】北区の郷土史や地域史にふれ、高齢化や歴史継承者の減少で郷土の習慣や風習など伝統の継承が困難になっていることを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】地域史の学習を通して、調べたことや理解したことについて他者の理解が得られるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地域史を学習する意義や考え方を積極的にとらえ、自身の興味について「振り返りシート」の記入など表現を工夫している。	○	○	○	2
資料を選んで活用しよう 【知識及び技能】調べ学習にあたり必要に応じた史資料を使用することを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】様々な資料の特徴や活用方法を調べ、その内容を他者の理解が得られるように表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】史資料を適切に活用して北区の郷土史や地域史にふれさせる。	・地域史を学習するにあたり様々な史資料の特徴について理解する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・一人1台端末の活用 ・振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】調べ学習にあたり必要に応じて文献、絵画、写真、口承、伝承などの史資料を使用することを理解している。 【思考・判断・表現】資料の特徴や活用方法を適切にまとめ、その内容を他者の理解が得られるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】資料を適切に活用して北区の郷土史や地域史にふれている。	○	○	○	2
王子の歴史を調べよう／博物館・資料館で学ぼう 【知識及び技能】史資料を適切に使用させ調べたことを適切にまとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】各自テーマを設定して王子の歴史をまとめ、その内容を他者の理解が得られるように表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】郷土史を活用させ王子の歴史を調べさせる。	・王子の歴史を史資料を活用して調べ、レポート用紙にまとめる。 ・王子の歴史について調べたことを発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】調べ学習にあたり必要に応じて文献、絵画、写真、口承、伝承などの史資料を使用することを理解している。 【思考・判断・表現】資料の特徴や活用方法を適切にまとめ、その内容を他者の理解が得られるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】郷土史や史料にふれ、王子の歴史を調べたりまとめたりしている。「振り返りシート」や「ワークシート」への記入。	○	○	○	6
博物館・資料館で学ぼう 【知識及び技能】身近なところにある資料館を適切に選出させ施設について適切にまとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】「飛鳥山博物館」と「お札と切手の博物館」で学習したことをワークシートを使用して発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】博物館で新たに発見した王子の歴史を「ワークシート」や「振り返りシート」にまとめさせる。	・「飛鳥山博物館」「お札と切手の博物館」見学 ・王子の歴史を史資料を活用して調べ、レポート用紙にまとめる。 ・王子の歴史について調べたことを発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】歴史的遺構や文化財を資料館で調べようとしている。 【思考・判断・表現】「飛鳥山博物館」「お札と切手の博物館」で学習した内容を他者の理解が得られるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】王子の歴史を踏み込んで調べたりまとめたりしている。「振り返りシート」や「ワークシート」に記入している。	○	○	○	6

1学期

	荒川を知ろう 【知識及び技能】荒川の歴史について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】北区や王子における土地利用の変遷について考察して他者に表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】荒川が流域の人々にもたらしている恵みや文化を北区に焦点をあてて気づかせ、ワークシートにまとめさせる。	・北区における災害の歴史を史資料を活用して調べ、レポート用紙にまとめる。 ・荒川周辺の地域における土地利用の変遷について調べたことを発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・東京防災 東京マイタイムライン ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】荒川の歴史を資料を活用して適切に調べている。 【思考・判断・表現】様々な史資料を活用して北区や王子における土地利用の変遷について考察して他者に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】荒川が、北区など流域にくらす人々の生活や風習に影響を与えていることに気づいている。それらを「振り返りシート」や「ワークシート」に記入している。	○	○	○	4		
	災害の種類 【知識及び技能】「自然災害」について知っていることをまとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】「自然災害」について自分の調べたことや考えを適切に他者へ説明させる。 【学びに向かう力、人間性等】2019年10月台風19号の被害を取り上げてワークシートにまとめさせる。	・北区における災害の歴史を史資料を活用して調べ、レポート用紙にまとめる。 ・北区における災害の歴史について調べたことを発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・東京防災 東京マイタイムライン ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】「自然災害」について知っていることを適切にまとめている。 【思考・判断・表現】「自然災害」について自分の調べたことや考えを適切に他者へ説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】過去における荒川や北区の自然災害について「振り返りシート」や「ワークシート」にまとめている。	○	○	○	4		
2 学 期	これまでの災害とその種類 【知識及び技能】水害年表などを活用して過去の北区における災害を調べさせる。 【思考力、判断力、表現力等】岩淵水門の役割について思考して地域との関りを考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】フィールドワークで学んだことを「振り返りシート」や「ワークシート」にまとめさせる。	・フィールドワーク：「荒川治水館／荒川河川事務所」見学 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・東京防災 東京マイタイムライン ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】一人1台端末を活用して北区で発生した自然災害を適切に調べ理解している。 【思考・判断・表現】「荒川治水館／荒川河川事務所」を見学し赤羽岩淵水門の役割を適切にまとめ、適切に他者へ表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】フィールドワークで新たに学んだことや疑問を「振り返りシート」や「ワークシート」にまとめている。	○	○	○	14		
	これからの災害と防災 【知識及び技能】岩淵水門や荒川放水路の役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】東京23区内の治水施設を調べ、今後予想される自然災害への備えを考察させ、他者の理解が得られるように表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】「これまでの100年これからの100年」をテーマにハザードマップ作成させる。	・岩淵水門についてフィールドワークや史資料を活用して調べまとめる。 ・荒川放水路について調べたことを発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・東京防災 東京マイタイムライン ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】岩淵水門に加え荒川放水路の役割を理解している。荒川放水路が2024年10月に通水100年の節目を迎えることを理解する。 【思考・判断・表現】局地的な洪水への備えを考察し、東京23区内の治水施設を他者の理解が得られるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】「これまでの100年これからの100年」をテーマに自己の生き方・役割を思考し「振り返りシート」や「ワークシート」にまとめている。	○	○	○	14		
3 学 期	I 自分がくらす街の歴史を調べよう 【知識及び技能】自分がくらすしている地域の歴史を調べたりまとめたりする。 【思考力、判断力、表現力等】資料やインターネットを活用して課題解決に取り組ませる。 【学びに向かう力、人間性等】自分がくらすしている地域の歴史を調べさせ、パワーポイントにまとめさせる。	・自分がくらすしている地域を資料を活用して調べ、レポート用紙にまとめる。 ・自分がくらすしている地域をグループ内で発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】自分がくらすしている地域の歴史を理解したり調べたりしている。 【思考・判断・表現】資料やインターネットを活用して課題解決に取り組み、その内容を他者の理解が得られるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自分が発表する内容をパワーポイントを活用してまとめている。	○	○	○	6		
	自分がくらす街の歴史を発表しよう 【知識及び技能】自分がくらすしている地域の郷土や風習を調べ理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】課題解決に郷土史や風習、地理的要素などを取り入れ、効果的な発表方法を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】自分で資料を収集して発表の準備に取り組ませる。	・自分がくらすしている地域を資料を活用して調べ、レポート用紙にまとめる。 ・自分がくらすしている地域をグループ内で発表する。 教材： ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等	【知識・技能】史資料を活用して地域の郷土や風習などを調べ理解している。 【思考・判断・表現】既習事項を活用して課題解決に取り組み、パワーポイントを活用してまとめようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】自分で資料を収集して発表の準備に取り組んでいる。発表会の段取りを他者と協力して計画し運営しようとしている。	○	○	○	10		
	1年間を振り返ろう 【知識及び技能】学習した内容や調べる手立てなどを正しく理解させ	・1年間の学習をレポート用紙にまとめる。 ・1年間で身についた力をグループ	【知識・技能】学習した内容や調べる手立てなどを正しく理解している。 【思考・判断・表現】身についた技能などを						

<p>る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】身に付いた調べ学習の技能などを他の授業や特別活動の場面で活用できるか考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】1年間の学習活動を適切に振り返り、「振り返りシート」や「ワークシート」にまとめさせる。</p>	<p>内で発表する。</p> <p>教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「江戸から東京へ」、授業プリント（独自） ・一人1台端末の活用 ・ワークシート、振り返りシートへの記入 ・発表 等 	<p>他の授業や特別活動の場面で活用できるか考察し、他者に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】資料の種類や調べ方など1年間の学習活動を適切に振り返り、「振り返りシート」や「ワークシート」にまとめている。</p>	○	○	○	2
合計						70